

学校部活動の地域連携及び地域移行について

令和6年6月21日

教育委員会

地域創生部

1 令和6年度「第1回群馬県地域クラブ活動体制整備検討委員会」（令和6年6月18日）における協議より

「地域移行の今後の方向性」及び「指導者の確保と質の向上」について、委員の方々から次のような意見をいただいた。

(1) 地域移行の今後の方向性について

- 明確なスケジュールを示す方がよい。具体的な方向性が示されないと、関係する団体が動けない。そのためには条件整備は必要である。
- 一番は、子供たちの活動場所を確保することである。現状としては、部活動指導員の配置や拠点校部活動など地域連携を中心に進めている。いずれは、地域移行へつなげていくことも考えている。
- スポーツだけでなく文化部（吹奏楽など）も地域移行に向け動いている。受け皿及び指導者の確保、生徒の送迎や楽器の輸送などの課題もあり、方向性を示していきたいと考えるが、令和8年度末までに地域移行を完了等になると難しい。
- 地域住民主体で、地域で子どもを受け入れる活動例を広げていくことも大切である。等

(2) 指導者の確保と質の向上について

- 県で広域的な人材バンクを設置することにより、過疎地域でも指導者確保につながる事が期待できる。
- 競技団体からすると、指導者は資格保有者が望ましく、最低限の公認スポーツ指導者資格（スタートコーチなど）取得の基準があった方がよいと考える。
- クラブや学校などで必要な人材のニーズを把握し、ブラッシュアップしながら運用することが必要である。等

2 群馬県としての今後の取組

- 新たに増員したコーディネーターと県担当者等とともに各市町村を訪問し、地域の実状に応じ、地域クラブ活動の運営団体・実施主体の準備に向けた支援等を推進する。
- 生徒向けのワークショップ（7月13日（土）13:30～16:30 Gメッセ群馬）を含め、セミナーやシンポジウム等の実施を通して、周知・広報活動を充実させていく。
- 委員の意見や、市町村からの現場ニーズを踏まえ、人材バンクの設置を検討する。
- 各市町村の意見を聞きながら、第2回群馬県地域クラブ活動体制整備検討委員会 WG会議（令和6年12月19日）及び第2回群馬県地域クラブ活動体制整備検討委員会（令和7年2月6日）等での検討を踏まえ、令和8年度以降の方向性を示していく。等

担当 健康体育課

電話 027-226-4711